

平成27年12月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

平成27年12月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者			質問方式	
12月8日(火)	10:00～	個人	1	藤本 弘	一問一答	
	10:45～		2	奥野 正三	一問一答	
	11:30～		3	田中 豊	一問一答	
			休憩			
	13:15～		4	平本 英久	一問一答	
	14:00～		5	山本由美子	一問一答	
			休憩			
	15:00～		6	小松 康之	一問一答	
15:45～	7	並河 愛子	一問一答			
12月9日(水)	10:00～	個人	8	木曾 利廣	一問一答	
	10:45～		9	富谷加都子	一問一答	
	11:30～		10	奥村 泰幸	一括	
			休憩			
	13:15～		11	三上 泉	一問一答	
	14:00～		12	湊 泰孝	一問一答	
			休憩			
	15:00～		13	小川 克己	一問一答	
15:45～	14	馬場 隆	一問一答			
12月10日(木)	10:00～	個人	15	石野 善司	一問一答	
	10:45～		16	小島 義秀	一問一答	
	11:30～		17	明田 昭	一問一答	
			休憩			
	13:15～		18	福井 英昭	一括	
	14:00～		19	酒井安紀子	一問一答	
			休憩			
	15:00～		20	菱田 光紀	一問一答	

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成 27 年 12 月 亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>藤本 弘 12月8日(火) 10:00～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税 1億円をめざす政 策について</p> <p>2 人口減少の歯 止めについて</p> <p>3 「球技専用ス タジアム」を中心 とした新交通網の 整備について</p>	<p>「かめおか・未来・チャレンジビジョン」の挑戦 では、「民間との連携によるふるさと納税1億円をめ ざし、そのお礼の品として、地元産品を活用すること で、地元経済の活性化とPRを進めます。」とある。 (1)ここ5年間における、ふるさと納税の納税状況 は。 (2)ふるさと納税1億円をめざしての、PR・広報 等の手法はどのように考えるか。 (3)返礼品は、現在どのようなしくみにしているの か。また、どのようなものを送っているのか。 (4)返礼品に、今後どのようなものを考えているか。 (5)返礼品に、農産物・特産品だけでなく、三大観 光との連携等も考えているか。 (6)ふるさと納税1億円をめざすとなると金額も現 在の数十倍になるが、返礼品も現在の数十倍にな る。今後、農政・畜産行政との生産連携はどのよ うに考えるか。 (7)ふるさと納税1億円も、一気に1億円は厳しい と思われるが、当面の目標はどのように考えるか。</p> <p>人口目標は10万人だが、現状では9万1千人を切 ろうとしている。このまま手を打たなければ人口は減 少を続け、10年後の2025年には8万6千人まで 減少すると推測されている。まさに今が、時代の転換 点である。 (1)第4次亀岡市総合計画後期基本計画では亀岡市 の人口フレームをどのように考えるか。 (2)挑戦、「暮らしやすい基盤整備づくり」の中 で、新たな魅力あるまちづくりのため、区画整理 事業が大井町南部地区、亀岡駅北地区、千代川町 高野林地区、篠インター周辺地区で進んでいるが、 今後の人口減少をくい止めるため、企業誘致につ いてはどのように考えるか。</p> <p>11月1日の新聞インタビューで、最優先に取り組 む市政課題として「栗山正隆市長の取り組みをしっか りと継続し、中矢田篠線や北古世西川線の市道整備な ど重点施策は早期完成を目指す」と述べられている。 (1)市道北古世西川線の整備進捗状況について 整備完了区間を供用開始すると聞くと、どの区間 をいつ頃から供用開始しようと考えているか。 JR亀岡駅・京阪京都交通の跡地から、JR馬堀 駅・新西川橋までの全線開通はいつごろの予定か。 (2)都市計画道路馬堀停車場篠線について 現在の進捗状況は。 JR馬堀駅から篠インター方面へ抜ける、全線開 通の予定はいつ頃か。 (3)挑戦には、「国道9号渋滞緩和のため、保津</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 北陸新幹線「小浜ルート」の早期促進と亀岡への新幹線新駅設置について</p>	<p>川堤防のバイパス化を進める。」とあるが、どこからどこまで、いつ頃、バイパス化しようと考えているか。</p> <p>(4)「10年～20年先を見据えた、国道9号のダブルルートの要望」について 具体的に、どこからどこまでのどのような計画か。今後の要望活動については、どのように考えるか。</p> <p>(5)交通渋滞緩和と災害時の避難ルートとして、仮称、府道保津 - 新丸太町線のトンネル化については、要望がどこまで府や京都市へ届いているか。</p> <p>挑戦の「公共インフラ整備の促進」の中に、「東海道新幹線のダブルルートとしての北陸新幹線の小浜ルートの実現に向けた活動を展開します。」とある。</p> <p>(1)北陸新幹線「小浜ルート」の早期促進について、どのように考えるか。</p> <p>(2)ここ40年来、亀岡への新幹線の新駅設置の要望もあるが、どのように考えるか。</p> <p>(3)沿線の経費負担について、どのように考えるか。</p>	市長 所管部長
2	<p>奥野 正三 12月8日(火) 10:45～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 亀岡運動公園及びスポーツ施設の維持管理について</p> <p>3 東本梅町内の市道の整備と護岸整備について</p>	<p>桂川新市長が「かめおか・未来・チャレンジビジョン」として、8つの挑戦を目指し当選されたが、その中で具体的な数字を示されている項目について問う。</p> <p>(1)小・中学校の学習環境を充実させるため、エアコンの導入を平成29年度末までに目指すとしているが、可能なのか。</p> <p>(2)亀岡版地域力再生事業の創設などを行い、市民に税収の1%の還元を図るとあるが、具体的な策はあるのか。</p> <p>(3)民間との連携でふるさと納税1億円を目指すとあるが、その手法、及び達成に向けた年次計画はあるのか。</p> <p>昭和63年の京都国体に合わせて作った施設であるが、体育館・競技場等は今でも多くの市民が利用し、また、小・中・高の各種大会が開催されている中、施設の維持管理について問う。</p> <p>(1)国道372号に架かるメモリアルゲートに補修を必要とする箇所が見受けられるが、その実施計画はあるのか。</p> <p>(2)体育館の床に数カ所テープが貼られているが、その訳は。</p> <p>(3)体育館のトイレに補修を必要とする箇所が見受けられるが、その実施計画はあるのか。</p> <p>(4)プール管理棟のシーズン以外の使用状況、及び宿泊棟の利用状況は。</p> <p>町内の市道は全般的に狭く、路面・路肩も整備が必要と考える。また、河川も狭く、近年のゲリラ豪雨で河川の氾濫もあったところであり、早急に整備をすべきと考える。</p> <p>(1)大内地区から神前地区へ通じるさくら峠(通称)の舗装修理と拡幅が必要と考えるが、どうか。</p> <p>(2)市道大内線の舗装全面改修が必要と考えるが、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 有害鳥獣対策について	<p>どうか。</p> <p>(3) 音羽川の護岸整備は年々進んでいるが、音羽川起点印の杭より上流の未整備地に民家があり、早急な整備が必要と考えるが、どうか。</p> <p>(4) 青谷川の河川改修が進んでいるが、全流域が民家に面しており早期の整備改修が必要と考えるが、どうか。</p> <p>国・府・市の補助金を利用して防護柵を設置しているが、被害が後を絶たないことを問う。</p> <p>(1) 現在、委託している猟友会の方は何名おられるのか。また、今後の推移は。</p> <p>(2) 昨年の捕獲実績と今年の実績は。</p> <p>(3) 捕獲実績を上げるために市としての取り組みは。</p> <p>(4) 近隣市町と本市の捕獲鳥獣補助金の額は。</p> <p>(5) 本市の捕獲後の処理方法は。また、近隣市町の処理方法は。</p>	市長 所管部長
3	田中 豊 12月8日(火) 11:30~ 一問一答	1 市長選挙の結果について 2 来年度の予算編成と公約実現について 3 スタジアム建設とアユモドキ保護について	<p>1 1月1日執行の市長選挙の結果について、市長の所見を問う。</p> <p>(1) 今回の選挙結果は、投票率が前回比8.56ポイント増の44.45%に上昇した。桂川票は前回の栗山票から715票マイナスの1万9847票、高向票は前回の松野票から6420票増の1万2096票となった。これについて所見は。</p> <p>(2) 投票率が増加した分がそのままスタジアム建設中止を訴えた高向票となった。この批判票をどう見るのか、所見は。</p> <p>平成27年10月14日に、前市長は平成28年度予算編成方針を出した。新市長は、栗山市政を引き継ぐと公約された。</p> <p>(1) 平成28年度予算編成方針を引き継ぎ予算編成に当たるのか。</p> <p>(2) 予算編成方針4ページの「健全な行財政運営の推進」の項で、「3つの項目を基本とし、予算編成をする。」とされているが、「かめおか・未来・チャレンジビジョン」の「目指す姿の実現に向けた8つの挑戦」(以下「挑戦」という。)をどのように実現する計画か。</p> <p>(3) 「挑戦」の目標年次はどうか。</p> <p>(4) 「挑戦」の財源計画はどうか。</p> <p>(5) 第4次亀岡市総合計画と「挑戦」との整合性はどうか。</p> <p>(6) 後期基本計画と「挑戦」の整合性はどうか。</p> <p>(7) 総合計画の目標年次平成32年の定住人口10万人について、見直す考えはどうか。</p> <p>去る11月19日、国際自然保護連合(IUCN)は、アユモドキをレッドリストの「CR(絶滅危惧種)」に指定した。</p> <p>(1) 国際自然保護連合とはどういう組織か。</p> <p>(2) レッドリストの「CR(絶滅危惧種)」とは、どういうランクか。</p>	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

			<p>(3) レッドリストの「CR (絶滅危惧種)」は、日本の環境省のレッドリストではどの分類に相当するのか。</p> <p>(4) レッドリストの「CR (絶滅危惧種)」は、絶滅危惧種の3つのランクのうち、最も危機レベルの高いランクで、環境省のレッドリストで最も深刻な「絶滅危惧 A類」に相当するものとして初めて分類された。この指定について所見は。</p> <p>公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン) の草刈秀紀氏は、11月19日付けのブログで、「これまでアユモドキは『DD (情報不足種)』とされてきましたが、今回の評価でジャワサイヤスマトラオランウータンなどと並ぶ、世界で最も絶滅のおそれの高い野生生物の一種として、淡水魚専門家の科学的な判定により国際的に認められることになりました。日本の固有種で現在、世界のレッドリストで『CR』にランクされている野生動物はノグチゲラやオガサワラオオコウモリ、オキナワトゲネズミ、アベサンショウウオ、キクザトサワヘビなど、ごく少数に限られています。アユモドキがこれらの動物たちと同じく、希少かつ貴重であること。そしてそれを保全する責任を、日本は世界と未来に対して負っていることを、京都府と亀岡市の関係者の皆さんには、あらためて深く認識していただきたいと思います。」と記されている。</p> <p>(5) この草刈秀紀氏のブログに対する所見は。</p> <p>公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン) は、去る11月25日付けで、「国際自然保護連合 (IUCN) により絶滅危惧種とされたアユモドキに脅威を与えかねない京都スタジアム建設計画は白紙に戻して見直すことを求める」意見書を、京都府知事宛に提出した。</p> <p>この意見書では、「WWF ジャパンでは、国際自然保護連合 (IUCN) のレッドリストにおいて、今月19日に絶滅危惧種 (CR) として記載されたことを受けて、国際的に貴重であり、特に最優先して保全の取り組みをすべきアユモドキの保護のために、下記の通り要求します。」として、3項目を求めている。</p> <p>(6) 各要求項目についての所見を問う。</p> <p>1点目の「IUCNの絶滅危惧種 (CR) に記載されたことは、国際的に憂慮すべき事態であり、現在の予定地での京都スタジアム (仮称) 建設計画は白紙に戻して見直すことを求める。」に対する所見は。</p> <p>2点目の「開発事業予算は、根底から見直すこと。」に対する所見は。</p> <p>3点目の「京都府公共事業評価委員会は、府の専門家会議による科学的議論のみならず、国際的水準での科学的な判定が求められる為、内外の研究者によるアユモドキ保護およびその生息地保全のための検討作業を早急に進め、極めて厳格な手続きにより判断すべきである。」に対する所見は。</p> <p>(7) スタジアム建設計画を見直すべきと考えるが、所見は。</p>	
--	--	--	---	--

4	<p>平本 英久 12月8日(火) 13:15~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 地域公共交通について</p> <p>2 「空家等対策の推進に関する特別措置法」関連について</p> <p>3 京都地方法務局亀岡出張所移転について</p>	<p>地域公共交通の拡充と今後の運行計画について問う。</p> <p>(1) 篠町地区でのコミュニティバスの試験運行計画について現在の進捗状況と見通しはどうか。</p> <p>(2) 同試験運行に向けて当初計画から変更などはあるのか。</p> <p>(3) 篠町地区でのコミュニティバス本格運行に向けての見通しはどうか。</p> <p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」関連の本市の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 空き家対策に向けての庁内各部署間の連携は取れているのか。</p> <p>(2) 現在までの空き家の実態把握はどの程度進んでいるのか。</p> <p>(3) 空き家の実態把握の計画と完了見込みはどのように考えているのか。</p> <p>(4) 空き家の活用方法や対応策についての立案や計画はあるのか。</p> <p>(5) 「特定空家等」の対策を進める上で、協議会等の組織化は考えているのか。</p> <p>平成28年2月1日付けで法務局亀岡出張所が園部支局へ統合されることについて問う。</p> <p>(1) 統合後における不動産登記及び法人登記関係書類の自動発行機設置等は協議されているのか。</p> <p>(2) 協議されている場合、その設置予定と利用可能予定は、ないのであれば設置に向けて要請等はするのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
5	<p>山本由美子 12月8日(火) 14:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 認知症対策について</p> <p>2 健康増進について</p>	<p>厚生労働省の推計では、2012年時点で認知症患者数は約462万人とされ、さらに大幅な増加が想定される。そのため、認知症患者が徘徊し、行方不明や事故に巻き込まれるケースが今まで以上に数多く発生すると考えられ、早期に発見・保護するための取り組みが重要となる。</p> <p>(1) 認知症徘徊高齢者見守りの取り組みは。(認知症高齢者徘徊SOSネットワークの構築など)</p> <p>(2) 徘徊高齢者家族介護者安心事業の実績と課題は。</p> <p>(3) GPS端末の貸し出しに加え、見守りキーホルダーや反射材ステッカーなどを導入する考えは。</p> <p>(4) 「地域の目」による早期発見の取り組みとしてコンビニエンスストアと協定を結ぶ考えは。</p> <p>(5) 認知症サポーター養成講座の中で、ロールプレイの手法により、認知症徘徊高齢者の方への声掛け訓練を取り入れてはどうか。</p> <p>現在、「かめおか健康プラン21」(第2次亀岡市健康増進計画)の策定が進められているが、市民の誰もが健康で幸せと思えるまち、身体面の健康だけでなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちづくりが求められる。</p> <p>(1) 前計画の評価から見えてきた課題や府、国から示された新たな方針を第2次亀岡市健康増進計画</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 放課後児童会の拡充について</p> <p>4 インターネットリテラシー（情報ネットワークを正しく利用することができる能力）・情報マナーの取り組みについて</p>	<p>にどう反映されたのか。</p> <p>(2) スマートウェルネスシティについての見解は。</p> <p>(3) 健康ポイント制度導入についての考えは。</p> <p>核家族化や女性の社会進出、子どもを取り巻く環境の変化などにより、放課後児童会への入会を希望する児童が増加傾向にある。放課後などに安全・安心に過ごすための居場所として放課後児童会は大きな役割を果たしている。</p> <p>(1) 学校により実情が異なるため、受け入れ人数に余裕のある場合には、高学年も入会可能にするなど柔軟に対応する考えは。</p> <p>(2) 開設時間を拡充する考えは。</p> <p>(3) 課題となる保育場所及び人材確保などの環境整備について、今後どのような方針で対応されるのか。</p> <p>インターネットの普及による社会の情報化は子どもたちの生活や心身の問題に大きな影響を及ぼしている。特にパソコン並みの性能を備えたスマートフォンは、長時間利用による健康や学習への悪影響のほか、いじめやインターネット上の犯罪の温床になるなど、多くの問題が浮上しており、ネットの適切な活用方法、情報マナーの向上の取り組みが一層求められている。</p> <p>(1) 小・中学生の携帯電話、スマートフォンの利用実態は。（所持率、利用時間など）</p> <p>(2) 携帯電話やスマートフォンによる、いじめなどトラブル発生の現状は。</p> <p>(3) 児童生徒や保護者、教職員に対しインターネットリテラシー・マナー向上のため、どのような啓発活動を実施しているのか。</p> <p>(4) インターネットリテラシー・マナーの一層の向上を図るため、今後の取り組みは。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
6	<p>小松 康之 12月8日(火) 15:00～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長公用車について</p> <p>2 公共交通について</p> <p>3 市道中矢田篠線について</p>	<p>市長の立場上、市長自身の安全性の確保は重要な課題である。通勤時の交通事故防止等、市長の職務を全うするための対策について問う。</p> <p>(1) 市長はどのような手段で通勤されているのか。</p> <p>(2) 交通事故等の安全性の確保についての考えは。</p> <p>「地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰」を受賞した富山県魚津市を視察し、市民バス事業について学ぶことができた。同市では様々な実験運行を実施し、潜在需要の顕在化による利用者増に取り組んでいる。高齢者等の移動制約者の移動手段の確保にも力を入れている。</p> <p>(1) 西つつじヶ丘の丘陵地でバス停までの往復が困難な高齢者等に対して民間バスが運行される中、対策はどのようなものが考えられるか。</p> <p>(2) 高齢福祉施策の一環で高齢者の移動手段確保の「福祉バス」のような支援事業は考えられないか。</p> <p>西つつじヶ丘地内において通行する車両数は増加傾向にある。篠工区が完成すれば確実に国道9号のバイ</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 市民協働について</p> <p>5 空き家・空き地の適正管理について</p>	<p>パス化につながる。当地内の市道は曲線と坂道がありながら横断歩道が1本しかなく、横断及び自転車通行等の安全確保が難しい。特に大型ダンプの通行は騒音と危険度が増す。市としての考えを問う。</p> <p>(1) 篠工区の完成時期はいつなのか。</p> <p>(2) 大型車両の登校時の通行規制をどう考えるか。</p> <p>(3) 30キロの制限速度を維持することに支障があるのか。</p> <p>厳しい財政状況であるが、行政サービスの低下を避けるためにも今後、市民との協働は重要かつ必要不可欠なものになってくる。市長の考える「市民力による賑わいづくり」について問う。</p> <p>(1) 市民活動を支援するいわゆる「1%支援制度」はどのような施策なのか。</p> <p>(2) 市長はこのような制度を使いどのようなまちづくりを考えているのか。</p> <p>空き地の放置は雑草が生い茂り、樹木の枝の落下や倒木といった周辺の生活環境の妨げや住民等の生命、身体又は財産に被害を及ぼす事態になりかねない。民間の土地の場合は被害が出るおそれがあるとしても市による所有者への指導が難しい状況にある。まして周辺の住民等が対処するには負担が大きく難題である。</p> <p>(1) 市道等に面した空き地等で危険な状況をどう認識しているか。</p> <p>(2) 空き家・空き地等の適正管理の調査は実施しているのか。</p> <p>(3) これまで危険な状態を把握した場合にどのように対処してきたのか。</p> <p>(4) 所有者への指導等対応の限界を感じているか。</p> <p>(5) 全国的に空き家・空き地等の適正管理に関する条例が制定されているが、本市において制定する考えはあるか。</p> <p>(6) もしなければその理由は。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p>
7	<p>並河 愛子 12月8日(火) 15:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 まちづくりについて</p> <p>2 市民要望について</p>	<p>全国的にも少子高齢化が進んでいる。第4次亀岡市総合計画で人口10万人を目指してまちづくりが進められてきたが減少傾向に歯止めがかかっていない。</p> <p>(1) 今後の人口動態をどのように分析されているのか。</p> <p>(2) 人口増の施策をどのように進められるのか。</p> <p>一人でも不安なく出産ができる産前・産後のサポートの充実等、市長選挙の公約に掲げられている。子育てには、行政の支援が求められる。</p> <p>(1) 子育て世代の願いである子どもの医療費の小学校卒業までの無料化について議会で請願が採択されて5年が経過している。早期の実施が求められるが計画はどうか。</p> <p>(2) 「中学校給食の実施をめざし、導入方法の検討を行います。」とされているが、具体的な計画はどうか。</p> <p>(3) 「小・中学校の学習環境を充実させるため、工</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 大規模スポーツ施設建設について	<p>アコンの導入を平成29年度末までにめざします。」とされているが、具体的な計画はどうか。</p> <p>1 1月1日投開票の市長選挙でも大きな争点になった。スタジアム建設を進めることで水害の拡大や財政負担がさらに増えるのではないかと懸念されている。市財政がさらに悪化するのではないかと懸念されている。アユモドキの保護や自然との共生、条例違反の建ぺい率の問題等、建設反対を訴えた高向候補が37%を獲得している。</p> <p>(1) 高向氏が獲得した1万2096票は投票者の4割近い。行政は、議会で何度も説明してきたとされているが、住民の側からすれば、どの問題をとっても解決されておらず、スタジアム建設に対して反対の声は多い。きっぱりと中止すべきではないか。</p> <p>(2) 新しい開発は、かけがえのないものを失う恐れもある。公開討論会で亀岡の銘木を守る市長自身の思いが紹介されたが、スタジアム建設で亀岡の自然が壊されるのではないかと懸念する声は多い。箱物ではなく、自然を生かしたまちづくりを進めるべきではないか。</p>	市長 所管部長
8	木曾 利廣 12月9日(水) 10:00~ 一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>市長選で公約された、「かめおか・未来・チャレンジビジョン」について問う。</p> <p>(1) 子どもの未来づくりのため、子育て・教育で憧れのまちを目指されているが、その中の中学校給食について、今後の見通しは。</p> <p>(2) 小・中学校の学習環境を充実させるため、エアコンの導入を平成29年度末までに目指すとあるが、実現の見通しは。</p>	市長
		2 道路行政について	<p>国道9号の慢性的な交通渋滞を解消するための対策は。</p> <p>(1) 市道中矢田篠線の整備について、京都縦貫自動車道・篠インターアクセス道路交差点改良の工事完了時期は。</p> <p>(2) 市道北古世西川線の整備について、一部の地権者との用地交渉が難航しているが、今後の事業推進の進捗状況は。</p> <p>(3) 京都スタジアム(仮称)建設に伴う交通渋滞解消対策は。</p>	市長 所管部長
		3 京都・亀岡保津川公園の整備について	<p>前栗山市政が着実に進めてきた、京都・亀岡保津川公園の基本的な考えについて、桂川新市長に問う。</p> <p>(1) スタジアム関連予算は50億円を限度とすると今まで答弁があったが、基本路線に変更はないのか。</p>	市長 所管部長
		4 財政状況について	<p>本市の財政は厳しい状況に置かれている。</p> <p>(1) 平成27年度以降における現況の本市財政状況について、新市長の考えは。</p>	市長 所管部長

9	<p>富谷加都子 12月9日(水) 10:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 道の駅ギャラリーかめおかの役割について</p> <p>2 少子化対策推進について</p> <p>3 「ひきこもり」の社会復帰支援について</p> <p>4 中学校給食について</p>	<p>ギャラリーかめおかは、生涯学習施設を本体として併設された道の駅である。ドライバーの休憩機能だけでなく情報発信機能、また亀岡市独自の文化教養の一大拠点を担う。こうした中で、国は、全国の道の駅が地方創生の役割として地域の活力を引き出すことを期待している。本市が考える道の駅の役割を問う。</p> <p>(1) ギャラリーかめおかの来館者の推移は。(年間の来館者数とイベントがない日の平均の来館数)</p> <p>(2) 有事の際の防災拠点になるか。</p> <p>(3) 地域連携機能として特産物や観光振興の役割は十分か。</p> <p>(4) 道の駅は利用次第で地域パワーの活性化拠点になりうると考えるが展望を問う。</p> <p>(5) 市民の声から、そばやうどんなどの軽食、またカフェを望む声があるが、飲食店の拡大の考えは。</p> <p>(6) インフォメーションコーナーで観光案内に加えふるさと納税の紹介をしてはどうか。</p> <p>(7) 施設維持のために経済振興の役割を持たせる考えは。</p> <p>(8) 芝生広場の遊具の安全対策は十分か。</p> <p>先日、市長に対して、平成28年度亀岡市予算編成の重点項目の一つに、少子化対策においては、出会い、結婚、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない、総合的かつ抜本的な対策を求める要望を提出した。出会い創出に重ね若者に地域の良さや文化を伝承し地域活性の後継者としての場づくりを望む。</p> <p>(1) 全国的に出生率が未婚化・晩婚化で過去最低を更新する厳しい現状をかんがみ、市として若者に夢を与えるさらなる思い切った対策の考えは。</p> <p>(2) 若者が亀岡の良さを知る場づくりとして、民間のアイデアを生かし、若者に幅広く出会いの場を提供する考えは。</p> <p>厚労省では、様々な要因の結果として社会的参加を回避しひきこもり状態の方がいる世帯が平成27年8月現在で約26万世帯としている。現役世代の不就労者・ひきこもりの増加は地域の活性化を妨げるだけでなく、高齢家庭の負担となる。市の取り組みを問う。</p> <p>(1) 本市ではひきこもりの実態把握をしているか。</p> <p>(2) 本市における支援策は。</p> <p>(3) 支援策の利用状況は。</p> <p>中学校給食実施において財源確保が課題と認識するが、食育面から中学校給食導入は働く親の切実な声である。今後の市の方向性を問う。</p> <p>(1) 実態調査や、前向きな検討委員会の立ち上げの考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
10	<p>奥村 泰幸 12月9日(水) 11:30~</p> <p>一括</p>	<p>1 新火葬場の整備について</p>	<p>新火葬場の建設計画について問う。</p> <p>(1) 整備年度は。</p> <p>(2) 斎場の規模は。</p> <p>(3) 概算経費は。</p> <p>(4) 新火葬場整備検討審議会の進捗状況は。</p>	<p>担当副市長</p>

		<p>2 農産物直売所の整備について</p> <p>3 国営ほ場整備に関連する道路整備について</p>	<p>亀岡産農産物等の直売所について問う。 (1) 亀岡市内の直売所の現状は。 (2) ファーマーズマーケットたわわ朝霧2号店開設に向けての考えは。</p> <p>国営ほ場整備に係る道路の整備について問う。 (1) 事業地区内で検討されている幹線道路整備の内容は。 (2) 府道郷ノ口余部線(都市計画道路宇津根新国道線)の延伸は。 (3) 延伸に係る要望について京都府の対応は。 (4) 整備年度は。</p>	<p>所管部長</p> <p>担当副市長</p>
11	<p>三上 泉 12月9日(水) 13:15~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 亀岡市学校規模適正化検討会議について</p>	<p>これからの亀岡の発展に欠かせないのは次世代育成の諸施策である。教育条件整備や子育て支援施策について市長の姿勢を問う。 (1) 第4次総合計画後期基本計画策定の中で、亀岡市の人口目標や、人口減少に歯止めをかけるための諸施策をどのように考えているか。 (2) 教育の果たす役割と重要性についての所見は。 (3) 他の自治体とも比して、学校の教室のエアコン設置と中学校給食の実現等、本市の教育条件整備の到達点をどのようにとらえて、今後どのように発展させようと考えているのか。 (4) また、他の自治体とも比して、子どもの医療費無料化拡充等、子育て支援の到達点をどのようにとらえて、今後どのように発展させようと考えているのか。 (5) 現在、教育委員会で設置された亀岡市学校規模適正化検討会議が、まもなく提言を出そうとしていることを認識しているか。またその所見は。</p> <p>昨年8月から、亀岡市学校規模適正化検討会議が教育長によって、委員の任命・招集がなされ、以来、7回の会議が開催され、12月末の第8回検討会議では、提言が最終検討される見通しとなっている。これまでの会議の中では、各委員の意見も分かれており、「結論ありきの会議」「アンケートも我々の意見を反映したものとはいえない」などの意見が出されている。 (1) 前回の会議でも委員から「外部委託のアンケートは我々の意向が反映されていない」という意見が出されたが、それはどういうことなのか。 (2) 本市において、義務教育学校の規模の違いによって、学力等の教育効果に差が生じているのか。 (3) 亀岡市学校規模適正化検討会議に出されている資料では、複式学級が悪のような描き方がされている。複式学級によることで教育効果が劣るといふ根拠となるデータや資料、科学的な見識があるのか。あれば提示されたい。 (4) 提言(案)には、中学校区ごとの具体的な方向性が出されている。その論拠として、「保護者と市民の意識」が挙げられているが、現場の教職員など教育専門家の意見はどこにも見当たらない。</p>	<p>市長</p> <p>教育長 所管部長</p>

		<p>3 大規模スポーツ施設建設について</p> <p>4 本市の文化施設の現状と改善について</p> <p>5 本市のスポーツ施設の現状と改善について</p> <p>6 公共都市交通について</p>	<p>児童生徒のため、教育効果を高めるためというのであれば、そこは欠かせないはずであるが、なぜないのか。</p> <p>建ぺい率の変更については、市民からも批判の声が上がっている。また、環境問題で白紙撤回を求める声も高まってきている。</p> <p>(1) 都市公園条例の建ぺい率の問題は、これまでに京都府とどのような協議をしてきたのか。</p> <p>(2) 「実施設計の段階で京都府と調整し、関係法令を遵守するよう努める。」としてきたが、この間の経緯は市民に明らかにされていない。説明責任が果たしていないのではないのか。</p> <p>(3) 環境保全専門家会議の最終評価がずれ込み、京都府の計画が遅れている中で、条例を変える必要があるのか。</p> <p>(4) 国際自然保護連合(IUCN)が、アユモドキをレッドリストの「CR(絶滅危惧種)」に指定したということは、国際世論のすう勢によれば、建設の白紙撤回を勧告したという意味合いが強い。これに対して、あくまでも市は建設にこだわるのか。</p> <p>亀岡会館が使用不可能となった今、音楽鑑賞などがまともにできる場がない。加えて中央公民館や厚生会館の閉鎖により、多くの文化サークルが活動場所に苦慮することになる。</p> <p>(1) 現状をどう把握・認識しているのか。</p> <p>(2) 代替文化施設の確保の見通しは。</p> <p>亀岡運動公園をはじめ、市内のスポーツ施設の老朽化が懸念されている。</p> <p>(1) 陸上競技場のトラックの傷みが激しい。第3種公認の更新時期が平成29年10月と迫っているが、公認更新工事は行うのか。</p> <p>(2) 運動公園体育館の床の傷みや雨漏り等、早急に点検・補修作業が必要なところについては優先的に行うべきだと考えるが現状と改修計画は。</p> <p>東部地域のコミュニティバスの運行については市民から強い要望がある。</p> <p>(1) 試験運行はいつごろ実施されるのか。</p> <p>(2) 試験運行後の市民や地域からの要望等はどの程度取り入れることができるのか。</p> <p>(3) さらにJR亀岡駅やガレリアかめおか方面への路線をのばすために、市道北古世西川線の早期開通を図るべきだが見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
12	<p>湊 泰孝 12月9日(水) 14:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市政アドバイザー設置について</p>	<p>市政運営を行う上で、全国の亀岡市出身者の協力を求めることは、地方創生や地域活性化の観点から大いに役立つと考えられる。</p> <p>(1) 市長の公約でもある、全国での亀岡出身者の会(仮称)亀人会の設立についての考え方とトップセールスのあり方は。</p>	<p>市長</p>

		<p>2 バス交通について</p> <p>3 大井町南部土地区画整理事業について</p> <p>4 桂川右岸道路整備について</p> <p>5 子どもの安全教育について</p>	<p>(2) 特に有識者の本市へのアドバイザー登録を確立することにより、本市への各種支援策を依頼できる体制づくりへの所見は。</p> <p>本市のバス交通については、各地域の要望も多くあるところである。南丹都市計画により基盤整備が盛んな大井町周辺の課題について問う。</p> <p>(1) JR並河駅を核としたアクセスとして、コミュニティバスの運行について問う。</p> <p>平成30年整備完了に向け事業が推進されている。保留地の売却も含め、道路や上下水道の築造工事も進み、行政の技術援助や補助金の確保にも感謝しているところである。事業推進での課題について問う。</p> <p>(1) 事業の進捗状況は。</p> <p>(2) 現在の課題とは。</p> <p>(3) 課題の解決策は。</p> <p>(4) 行政への影響は。</p> <p>現在、宇津根橋から亀岡駅間の道路拡幅工事が進められている。今後、千代川町川関から宇津根橋間の計画について問う。</p> <p>(1) 桂川右岸道路の必要性について所見は。</p> <p>(2) 計画の見通しは。</p> <p>子どもの自転車運転について、危険を心配する市民からの声を聴く機会が多い。最近の交通事情から、必須として取り組む必要性を感じる。</p> <p>(1) 現状の把握は。</p> <p>(2) 対策は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>
13	<p>小川 克己 12月9日(水) 15:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 災害に強い都市基盤整備について</p> <p>2 JR千代川駅周辺のバリアフリー化について</p> <p>3 バス交通につ</p>	<p>近年の異常気象によるゲリラ豪雨、巨大化して日本列島に上陸してくる台風、南海地震・直下型地震なども危惧される。今年も災害により、国道9号や京都縦貫自動車道が通行止めとなり、また、JR嵯峨野線も運休するなど、本市と京都市との行き来ができなくなった。日常的な国道9号の渋滞も解消されてない現状である。</p> <p>(1) 市長が言われている、国道9号や京都縦貫自動車道のダブルルート構想について、その内容は。</p> <p>(2) そのルートについて、地質調査や効果の研究等の委員会、若しくは促進協議会の設置など、具体的なことを考えているのか。</p> <p>(3) 千代川町川関から大井町そして宇津根橋までの桂川右岸道路についての所見は。</p> <p>JR千代川駅周辺のバリアフリー化について、JR西日本などと協議して、具体的な基本計画の策定準備を進めてもらっているところである。</p> <p>(1) 進捗状況は。</p> <p>(2) 駅東ロータリー整備完成後の駅舎を含めた全体的な構想は。</p> <p>市民の多くが利用している、ガレリアかめおかに接</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		いて	<p>続しているバス交通について、利用者から、ガレリアかめおかへの行き帰りに係る運行時間帯等の利便性が悪いと聞く。</p> <p>(1) 現状を把握しているのか。</p> <p>(2) 改善等調整はできないものか。</p>	
14	<p>馬場 隆 12月9日(水) 15:45～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 亀岡駅北開発計画について</p>	<p>9月19日未明、安倍自公政権は安保法制(「戦争法案」)の採決を強行した。安倍政権が、空前の規模で広がった国民の運動、6割を超す「今国会での成立反対」という国民の世論に背をむけ、強行したことは、世界連邦・非核平和都市宣言を行っている本市として、看過することができない。そこで、以下の点で、市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1) 平和首長会議に参加する本市市長としての基本姿勢について フランス・パリ市で起きた同時多発テロへの所見は。 安保法制(「戦争法」)への所見は。</p> <p>(2) 安保法制(「戦争法」)は憲法に背く違憲立法と考えるが、所見は。</p> <p>(3) 立憲主義・民主主義擁護が地方自治の原点であるが、見解は。</p> <p>(4) 自衛隊が「殺し殺される軍隊」になるのではないかと危惧するが、所見は。 本市の自衛隊募集事務は、どのような活動を行っているか。 本市は、自衛隊の活動にどう協力しているのか。 自衛隊員の命を守る取り組みを、どう行うのか。</p> <p>京都府の球技専用スタジアム基本設計において、スタジアムの建築面積が本市都市公園条例に定める建ぺい率(12%)を超えて、16.6%(建築面積2万3100㎡)となり本市条例違反状態であることは、9月15日の本会議で明らかにし、共産党議員団は是正を求めたところである。ところが、本議会に第13号議案として、京都・亀岡保津川公園にあっては100分の15を限度として「建ぺい率の特例」なる議案が提出されている。これは、行政と市民の間で取り交わされる条例に対する、信頼関係を損ねるものである。そこで、以下の点で、亀岡駅北開発計画に係る諸問題について問う。</p> <p>(1) 京都府のスタジアム基本設計について 地方自治体が定める条例とは何か。 亀岡市都市公園条例で規定する行政と市民の約束事は何か。 現条例を守り、建築面積の縮小を図るべきではないか。 京都・亀岡保津川公園における施設等の建ぺい率を「特例」とする根拠は何か。 条例改正により、建築面積をさらに530㎡広げることができるが、その理由は。 観覧席の縦通路の高さは府条例に違反するのではないか。 これは、建築基準法(避難経路の確保)に触れる</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>のではないのか。</p> <p>(2) WWFの「白紙撤回」意見書について 今夏の「アユモドキの実証実験」(環境保全専門家会議)の結果は。 国際環境機関のレッドリスト指定への所見は。 国際社会の判断をどう受け止めているのか。</p> <p>(3) 環境(水道水源と生態系)、治水、財政どれをとっても、スタジアム建設は白紙撤回すべきであるとするが、所見は。</p>	
15	<p>石野 善司 12月10日(木) 10:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 NHK大河ドラマ誘致活動について</p>	<p>ポリティックスリーダーとしての市政推進について、21世紀を平和な世紀、誰もが幸せと思える世紀とするためには、リーダーの資質こそが最も大切な要素の一つである。行政をあずかる者は、住民の福祉を第一に考え、全ての施策は住民の幸せにつながるものでなくてはならない。リーダーたる者は、あらゆる経済状況の中で、過ちを排除し、正しい方向に導くため、しっかりとしたビジョンと実行力を備えていなければならないと考えるが、市長の所見を問う。</p> <p>(1) 首長のリーダーシップとは。</p> <p>(2) 市民の幸せな暮らしの方向性をどのように政策に反映し、また実行されようとしているのか。</p> <p>(3) 政策実現のための財政的裏付けは。 28年度の予算規模は。 収支均衡への取り組みは。 予算編成方針に盛り込む視点は何か。</p> <p>(4) 選ばれる側の自治体には住民満足度向上が重要であるとするがどうか。</p> <p>現在放映中の「花燃ゆ」も佳境に入り、12月いっぱいまで終わり、2016年放送のドラマでは戦国時代の武将「真田幸村」の生涯を描く「真田丸」が決定されている。NHK大河ドラマ誘致推進協議会では明智光秀と娘のガラシャらを主人公とする大河ドラマの実現に向け、NHK放送センターへの要望、誘致活動の先進地の視察などをされ、本年度からは前栗山市長が協議会の会長を務め、NHKに直接要望書を手渡すなどされたが、働きかけは実らなかった。</p> <p>(1) 大河ドラマ誘致に向けた現在の取り組み状況は。 2017年の大河ドラマの主人公が戦国時代の女性城主・井伊直虎に決定し、「光秀大河」は再来年も落選したことが報じられた。本定例会に大河ドラマ誘致活動事業経費が補正計上されている。</p> <p>(2) 今後の展開は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
16	<p>小島 義秀 12月10日(木) 10:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 本市の観光行政について</p>	<p>京都丹波亀岡夢コスモス園について問う。</p> <p>(1) 開園16年目の本年、6万人弱の入園者があったが、所見は。</p> <p>(2) 当園の立地状況における課題は。</p> <p>(3) 6万人弱の入園者に対し、トイレ・駐車場など園内外の設備における対応は。</p> <p>(4) 園の本市観光振興に対する貢献は。</p> <p>(5) 緊急雇用・スタッフ等の確保について、今後の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		2 京都体操祭、かめおか体操祭について	<p>(6) 今後、本市の関わり方について、所見は。</p> <p>1 1月28日に京都学園大学で開催された第9回京都体操祭、第18回かめおか体操祭について問う。</p> <p>(1) 本市の関わりについて、現状は。</p> <p>(2) 来年、第10回京都体操祭、第19回かめおか体操祭への取り組みについて、本市の関わり方は。</p>	市長 教育長 所管部長
17	明田 昭 12月10日(木) 11:30~ 一問一答	1 まちづくりに ついて	<p>厳しい選挙戦を勝ち抜かれ、歴史と伝統ある亀岡市の第7代市長に就任されたことに心よりお祝いを申し上げます。第16期議員は残り3年2カ月の任期を有している。お互い主張し、堂々と意見を交わしながらまちづくり、市民福祉の向上に最大の努力を傾ける決意である。</p> <p>(1) 「かめおか・未来・チャレンジビジョン」「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現に向けてどのように取り組むのか所見は。</p>	市長
		2 人口問題について	<p>国全体が少子化等を主な要因として人口減少にある中、亀岡市として第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～基本構想に定住人口10万人を目標とされている。</p> <p>(1) 今年は前期基本計画の5年目を迎えたが、この間の人口推移は。</p> <p>(2) 亀岡市の人口について、総合的な見地からの思いは。</p> <p>(3) 引き続き平成32年度に人口10万人を目標値とする場合の方策は。</p> <p>(4) 亀岡市の世代別人口はどのようになっているのか。 明治、大正生まれの人数は。 昭和元年から昭和20年生まれの人数は。 昭和21年から平成10年生まれの人数は。 平成11年以降生まれの人数は。</p> <p>(5) 上記の結果から今後の亀岡市のなすべきことは何か。</p>	市長 所管部長
		3 子育てについて	<p>人口減少対策としては少し時間がかかるが、妊娠前から産前・産後、小学校入学前までを切れ目なく支援することが効果的だと考える。</p> <p>(1) 全て実施すれば現時点での試算額はどの程度となるのか。(妊婦から保育園卒園)</p> <p>(2) 地方創生として亀岡版創生特区に取り組む考えはあるか。</p> <p>(3) 亀岡市内の保育所は民間、公立、それぞれ何園あるのか。また、園児数は何人か。</p> <p>(4) 待機児童の状況は。</p>	所管部長
		4 城下町地区について	<p>JR亀岡駅北地区での新しいまちづくりが動き始めている。今日まで中心的な市街地に立地し、多くの市内外の人々に城下町とともに親しまれてきた亀岡会館や中央公民館の存在は、駅南を含めた城下町地区として地域コミュニティの拠点として欠かせないと考え</p>	所管部長

		<p>5 通学路の安全について</p> <p>6 市立病院について</p>	<p>(1) 亀岡会館の今後は。 (2) 文化資料館の検討状況はどのようになっているのか。 (3) 電線類地中化の具体策はあるのか。</p> <p>平成24年に篠町で発生した無免許運転による暴走事故は記憶に新しいところである。この事故を教訓に京都府・亀岡市が一体となりさまざまな安全対策が実施されてきたが、現在も危険な箇所がある。亀岡小学校区域においても直ちに改善が必要な箇所がある。</p> <p>(1) 市立図書館から国道9号の沼田モーターズ付近との交差点までの改善は。 (2) 府道王子並河線の横町交差点の改善は。 (3) 市道塩屋町横枕線と市道条ノ鼻荒塚線の交差点の改善は。(荒塚町一丁目メゾンN横交差点) (4) 府道王子並河線本町交差点三叉路の改善は。</p> <p>今年2月1日に玉井和夫院長が就任された。市立病院に課題はあると思うが、就任以来10カ月が経過し、課題解消に向け精力的に取り組まれていると察する。</p> <p>(1) 医師確保の状況は。 (2) 看護師・薬剤師等スタッフ確保の状況は。 (3) 交通手段の検討状況は。 (4) 経営状況の見通しは。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>病院事業管理者</p>
18	<p>福井 英昭 12月10日(木) 13:15~</p> <p>一括</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)完成にむけて</p>	<p>新市長に政治理念、施策の概要を問う。</p> <p>(1) 「かめおか・未来・チャレンジビジョン」の冒頭、「1. 子育て・教育で憧れのまちに(子どもの未来づくり)」について、どのようにして憧れのまちにするのか。 (2) 行政における選択と集中について、どのように考えているか。 (3) 京都スタジアム(仮称)完成に向けての思いは。</p> <p>京都・亀岡保津川公園内に建設される京都スタジアム(仮称)について、建設への課題は様々にあるが、環境、経済、都市機能、防災、治水、そして夢、その他全ての意味で、まちのランドマークとなるスタジアムを必ず建設してもらわないといけない。</p> <p>(1) 諸々の問題への対応はどうなっているか。 (2) 市民への説明会をもって、明確に理解いただく必要があると考えるが、開催しないのか。開催するなら、どのタイミングで行うのか。 (3) 都市公園の建ぺい率が問題になっているが、見解は。 (4) 公園とその周辺地域一帯について、市としてどのような位置づけをもって整備しようとしているのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p>
19	<p>酒井安紀子 12月10日(木) 14:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 亀岡まるごとスタジアム構想について</p>	<p>新市長の政策である賑わいのまちづくりのうちのひとつとして、亀岡まるごとスタジアム構想が掲げられている。</p> <p>(1) スタジアムプロジェクトの全容を把握したか。 (2) 誘致の経緯を始め、文書でわかりやすく引き継</p>	<p>市長</p>

			<p>ることができる状態になっていたか。</p> <p>(3) アユモドキ保全との両立等、困難な課題にどう対応するか。</p> <p>(4) 京都府との役割分担を文書化する考えは。</p> <p>(5) 今後、議会との情報共有をどのように進めていく考えか。</p> <p>(6) 京都府からスタジアムについて説明を受ける場を設ける考えは。</p>	
		2 新公会計制度への対応について	<p>持続可能なまちづくりをすすめていくには、これまで前提とされていた右肩上がりの人口増加やそれに伴う施策の増大からの転換を考えていかなければならない。その意思決定には、公会計による財務情報が不可欠である。</p> <p>(1) 公会計の前提となる固定資産台帳の整備状況は。</p> <p>(2) 公会計実施の目処は。</p> <p>(3) 市民への情報提供はどのように行っていくか。</p>	所管部長
		3 公共施設等総合管理計画について	<p>28年度には公共施設等総合管理計画の策定が予定されている。</p> <p>(1) 公共施設等の現状把握の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画案は委託ではなく市民の参画を得て、行政が自力で行うべきではないか。</p>	所管部長
		4 総合計画について	<p>27年度は第4次亀岡市総合計画後期基本計画の策定が予定されており、そのための審議会でもこれまでから活発な議論が行われてきた。その計画案には11月に就任した新市長の掲げた政策を反映する調整がされたところである。</p> <p>(1) 市長任期と計画の策定期間がリンクするような仕組みを構築してはどうか。</p> <p>(2) 公会計による財務情報や、公共施設等の情報を踏まえ、見直しが必要になるのではないか。</p> <p>(3) 基本計画に財政フレーム・人口フレーム等を書き込む考えは。</p>	所管部長
		5 保育所の潜在的待機児童について	<p>国の定義によれば、亀岡市における保育所待機児童はゼロであるが、実際には年度当初であっても入所できない状況がある。</p> <p>(1) 現在、入所を待っている児童の人数と今後の見込みは。</p> <p>(2) どのような対応を行っているか。</p> <p>(3) 本市独自の保育士確保策は。</p>	所管部長
20	<p>菱田 光紀 12月10日(木) 15:00～</p> <p>一問一答</p>	1 亀山城惣構跡の保存について	<p>昨年12月定例会でもこのことについて質したところである。この一年間でどのような取り組みを行ったのか改めて問う。</p> <p>(1) 亀山城惣構跡は、保存に向け、平成24年11月に史跡として亀岡市指定文化財となっている。現在の保存状況は、どのようになっているのか。</p> <p>(2) 前回、一定の保存方法について提案をしたが、どのように改善されたか。</p> <p>(3) 保存に向けた今後の課題をどのように認識しているのか。</p>	<p>市長 教育委員長 教育長 所管部長</p>

		<p>2 鳥獣保護区における有害獣対策について</p>	<p>シカ、イノシシといった有害獣による農作物被害が年々深刻化している。中でも鳥獣保護区内における被害は目に余るものがある。</p> <p>(1) 亀岡市内の鳥獣保護区の面積はどれだけあるのか。</p> <p>(2) その地域の特性はどうなっているのか。</p> <p>(3) 鳥獣保護区における駆除は、一定の手続きのもと、おりによる捕獲しか手だてがないのか。</p> <p>(4) 鳥獣保護区でも積極的な駆除がなされない限り、被害はとどまるところがない。今後どのような取り組みを行っていくのか。</p> <p>(5) 鳥獣保護区における駆除がスムーズに取り組めるよう、特区の申請をしてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 総合福祉センター駐輪場の雨対策について</p>	<p>総合福祉センターの自転車やバイクによる利用者のための駐輪場に屋根がない。以前は亀岡会館のものを利用していたが、閉鎖となったため、雨天時等に利用者から苦情が出ている。</p> <p>(1) 現状をどのように把握しているのか。</p> <p>(2) そもそも総合福祉センターの設置目的は何なのか。</p> <p>(3) 雨対策設備の設置について、早急な対応が必要と考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>